

## 第2回 安倍川大規模氾濫に関する減災対策協議会 議事要旨

1. 日時：平成29年5月11日（木） 14：00～14：50
2. 会場：葵消防署 7階 71会議室
3. 出席者：委員 静岡市副市長・静岡県 静岡土木事務所長・静岡県 中部危機管理局長  
静岡地方気象台長・静岡河川事務所長  
事務局 静岡河川事務所

### 4. 議事

- (1) これまでの経緯の確認について
- (2) 安倍川の取組状況について
- (3) 分会の取組について
- (4) 各機関の取組について

### 5. 議事概要

- (1) これまでの経緯の確認について  
第1回協議会、静岡市長との関係確認、これまで計4回の幹事会の確認
- (2) 安倍川の取組状況について
- (3) 分会の取組について
- (4) 各機関の取組について

平成28年5月に作成した取組方針の進捗状況について確認した。

3本柱の取組「住民の防災意識の向上」「逃げ遅れゼロ」「社会経済被害の最小化」に対して、分会、各機関それぞれの取組を、分会は事務局から、各機関は委員から報告した。

#### 【出席者の主な発言内容】

- ・河川の災害を勉強する「かわなび」という施設があり、ここで水防災教育を実施した。小学4年生を対象にバスツアーを企画し、シアターや展示物で説明を行った。また、「徳川家康と安倍川物語」等の副読本を市の施設に配布した。【静岡市副市長】
- ・陸閘の閉鎖訓練を3年間のローテーションで実施しており、平成28年度は4箇所行った。この陸閘閉鎖に伴う避難計画の検討を今後進めていきたい。陸閘閉鎖を踏まえて、防災計画の避難経路で本当に良いのかを検証し、その結果を周知していきたい。【静岡市副市長】
- ・安倍川の想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域に避難所等の位置を示したハザードマップを配布していきます。【静岡市副市長】

- ・豪雨等により市で浸水が発生した時に、国土交通省の排水ポンプ車の派遣を依頼するが、巴川で浸水を想定した際に、どこにポンプ車を配置するかなど確認していきます。【静岡市副市長】
- ・新たなステージに対応した気象情報を提供を進めています。「危険度を色分けした時系列」「警報級の可能性」について平成28年度は防災関係者のみの試行的提供でしたが、平成29年度は5月17日から一般の気象庁HPで提供が始まります。また、平成29年度は、「大雨警報の危険度分布」「洪水警報の危険度分布」を7月から提供を開始する予定です。【静岡気象台帳】
- ・風水害版図上訓練として市町の防災担当職員を集めて、防災情報の処理や活用・避難情報の発令判断基準の確認などロールプレイング形式による訓練を実施しました。また、市町が避難情報を発令するなかで、空振りや発令の遅れなどの問題について意見交換会を行い、課題を共有し、改善に向けて取り組んでいます。平成29年度はより効果的な形で実施していきます。【中部危機管理局】
- ・企業向けメールマガジンに、今年度も引き続き、風水害、水難事故等の防災情報を掲載します。しっかり時間を割いて実施していきます。【中部危機管理局】
- ・自治会の自主防災会に出前講座としてサイポスレーダーの操作説明会を実施しました。また、中学生を対象に県庁のサイポスレーダー集中管理室の見学会を行いました。【静岡土木事務所長】
- ・安倍川総合土砂管理計画として安倍川に流入する県管理河川の測量データや河床高の監視状況について情報共有しました。【静岡土木事務所長】
- ・今年2月に要配慮者利用施設の管理者向け説明会を開催した。平成29年度は新たに分会を設置し、取組を進めていきます。【静岡土木事務所長】
- ・将来の「防災、環境」を担う土木技術者の確保を目指し、地元大学に県職員を派遣し防災に関する講座を行います。将来の防災リーダーの養成につながればと考えています。【静岡土木事務所長】
- ・安倍川の想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図を公表しました。また、台風来襲時を想定したタイムラインの見直しを行いました。平成29年度は、避難までの

時間を少しでも確保するために堤防天端の舗装を実施します。また、洪水浸水想定区域図を時系列に分かり易くした氾濫シミュレーションを公表する予定です。さらに、静岡市内の小学校において水害に関する防災教育を進めていきます。なお、5月1日から安倍川では緊急速報メールの配信がはじまりました。安倍川で氾濫危険水位を超える場合等に配信されます。【静岡河川事務所長】

- ・決壊シミュレーションは、決壊想定点から必ず決壊するという誤解や、浸水エリアの広がりによって時間がかかるので安心するといった誤解をされる恐れがある。住民に説明しやすいように工夫してほしい。【静岡市副市長】
- ・緊急速報メールでは、水位観測所の名前が記載されますが、メールを見た住民は水位観測所の位置で決壊する恐れがあると誤解する恐れがある。安倍川において水位が上昇しており危険であるという認識を持ち、問い合わせ等に対応する必要がある。【静岡市副市長】

以上